

令和5年度 自閉症・情緒障害特別支援学級 第1学年 自立活動 年間指導計画 A

目 標			○自身が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服しようとする。 ○学校生活をする中で生活経験を増やし、より良い関係を築くためのコミュニケーションをとろうとする。	
月	時数	区 分	ね ら い	評価規準（評価方法）
年間を通じて指導	年間を通じて指導	健康の保持	・生活のリズムを整え、体調管理をする。 ・自己の障害の特性の理解を深め、より過ごしやすい生活環境を整える。	・自ら規則正しい生活をして、生活のリズムを保っている。 ・必要な支援を求めることができる。
		心理的な安定	・自己の特性に合わせた学習で、成功経験を増やし、自信をもたせて学習への意欲を高める。 ・混乱したり、不安な気持ちになったときに、自分にあった行動ができる。 ・急な予定変更に対処し、状況を理解して適切に対応することができる。	・苦手な学習に取り組もうとする。 ・自ら刺激の調整を行い、気持ちを落ち着かせることができる。 ・事前に予定を把握したり、体験できる機会を設定したりしてゴールのイメージを持って行動できる。
		人間関係の形成	・小集団での経験を広げて、交流学級で、相手の立場や、相手が考えていることなどを推測して関わることができる。 ・SSTを実施し人間関係の在り方について考えさせる。	・体験的な活動を通して自分の得意不得意なことを理解したり、他者の意図や感情を考え、対応方法を身に着けたりしている。
		環境の把握	・集団生活の中で、周りの動きを察して何をすべきか判断をすることができる。 ・時間を見て、意識して行動させる。	・集団の動きに自分なりに合わせて行動をすることができる。 ・どれくらい時間がかかるか自分で考えて行動することができる。
		コミュニケーション	・SSTを実施し、他者の視点にたって考えて話せるようなコミュニケーションの力を育てる。 ・援助を求めたり、相談したりすることができる。	・相手の考えを否定せず、自分の思いを使えることができる。 ・相談することの良さを実感し、安心して自分の気持ちを言葉で表現している。
年間指導時数 35 時間				
指導上の留意点			○抽象的な発問は避け、具体的に話をする。 ○作業を取り入れた活動を仕組み、コミュニケーションを自然にとれるようにする。 ○まず生徒の思いを聞き、共感したのちに必要に応じた指導をする。 ○何に困っているか、本人の状況を把握する。	
具体的な内容			・園芸 ・SST（ソーシャルスキルトレーニング） ・手仕事によるものづくり ・調べ学習	

令和5年度 自閉症・情緒障害特別支援学級 第2学年 自立活動 年間指導計画 B

目 標			○自身が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服しようとする。 ○学校生活をする中で生活経験を増やし、より良い関係を築くためのコミュニケーションをとろうとする。	
月	時数	区 分	ね ら い	評価規準（評価方法）
年間を通じて指導	年間を通じて指導	健康の保持	- 生活のリズムを整え、体調管理をする。 - 自己の障害の特性の理解を深め、より過ごしやすい生活環境を整える。	- 自ら規則正しい生活をして、生活のリズムを保っている。 - 必要な支援を求めることができる。
		心理的な安定	- 自己の特性に合わせた学習で、成功経験を増やし、自信をもたせて学習への意欲を高める。 - 混乱したり、不安な気持ちになったときに、自分にあった行動ができる。 - 急な予定変更に対処し、状況を理解して適切に対応することができる。	- 苦手な学習に取り組もうとする。 - 自ら刺激の調整を行い、気持ちを落ち着かせることができる。 - 事前に予定を把握したり、体験できる機会を設定したりしてゴールのイメージを持って行動できる。
		人間関係の形成	- 小集団での経験を広げて、交流学級で、相手の立場や、相手が考えていることなどを推測して関わることができる。 - SSTを実施し人間関係の在り方について考えさせる。	体験的な活動を通して自分の得意不得意なことを理解したり、他者の意図や感情を考え、対応方法を身に着けたりしている。
		環境の把握	- 集団生活の中で、周りの動きを察して何をすべきか判断をすることができる。 - 時間を見て、意識して行動させる。	- 集団の動きに自分なりに合わせて行動をすることができる。 - どれくらい時間がかかるか自分で考えて行動することができる。
		コミュニケーション	- SSTを実施し、他者の視点にたって考えて話せるようなコミュニケーションの力を育てる。 - 援助を求めたり、相談したりすることができる。	- 相手の考えを否定せず、自分の思いを使えることができる。 - 相談することの良さを実感し、安心して自分の気持ちを言葉で表現している。
年間指導時数 35 時間				
指導上の留意点			○抽象的な発問は避け、具体的に話をする。 ○作業を取り入れた活動を仕組み、コミュニケーションを自然にとれるようにする。 ○まず生徒の思いを聞き、共感したのちに必要に応じた指導をする。 ○何に困っているか、本人の状況を把握する。	
具体的な内容			・園芸 ・SST（ソーシャルスキルトレーニング） ・手仕事によるものづくり ・調べ学習	

令和5年度 自閉症・情緒障害特別支援学級 第2学年 自立活動 年間指導計画 C

目 標			○自身が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服しようとする。 ○学校生活をする中で生活経験を増やし、より良い関係を築くためのコミュニケーションをとろうとする。	
月	時数	区 分	ね ら い	評価規準（評価方法）
年間を通じて指導	年間を通じて指導	健康の保持	・生活のリズムを整え、体調管理をする。 ・自己の障害の特性の理解を深め、より過ごしやすい生活環境を整える。	・自ら規則正しい生活をして、生活のリズムを保っている。 ・必要な支援を求めることができる。
		心理的な安定	・自己の特性に合わせた学習で、成功経験を増やし、自信をもたせて学習への意欲を高める。 ・混乱したり、不安な気持ちになったときに、自分にあった行動ができる。 ・急な予定変更に対処し、状況を理解して適切に対応することができる。	・苦手な学習に取り組もうとする。 ・自ら刺激の調整を行い、気持ちを落ち着かせることができる。 ・事前に予定を把握したり、体験できる機会を設定したりしてゴールのイメージを持って行動できる。
		人間関係の形成	・小集団での経験を広げて、交流学級で、相手の立場や、相手が考えていることなどを推測して関わることができる。 ・SSTを実施し人間関係の在り方について考えさせる。	・体験的な活動を通して自分の得意不得意なことを理解したり、他者の意図や感情を考え、対応方法を身に付けたりしている。
		環境の把握	・集団生活の中で、周りの動きを察して何をすべきか判断をすることができる。 ・時間を見て、意識して行動させる。	・集団の動きに自分なりに合わせて行動をすることができる。 ・どれくらい時間がかかるか自分で考えて行動することができる。
		コミュニケーション	・SSTを実施し、他者の視点にたって考えて話せるようなコミュニケーションの力を育てる。 ・援助を求めたり、相談したりすることができる。	・相手の考えを否定せず、自分の思いを使えることができる。 ・相談することの良さを実感し、安心して自分の気持ちを言葉で表現している。
年間指導時数 35 時間				
指導上の留意点			○抽象的な発問は避け、具体的に話をする。 ○作業を取り入れた活動を仕組み、コミュニケーションを自然にとれるようにする。 ○まず生徒の思いを聞き、共感したのちに必要に応じた指導をする。 ○何に困っているか、本人の状況を把握する。	
具体的な内容			・園芸 ・SST（ソーシャルスキルトレーニング） ・手仕事によるものづくり ・調べ学習	

令和5年度 自閉症・情緒障害特別支援学級 第3学年 自立活動 年間指導計画 D

目 標			○自身が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服しようとする。 ○学校生活をする中で生活経験を増やし、より良い関係を築くためのコミュニケーションをとろうとする。	
月	時数	区 分	ね ら い	評価規準（評価方法）
年間を通じて指導	年間を通じて指導	健康の保持	・生活のリズムを整え、体調管理をする。 ・自己の障害の特性の理解を深め、より過ごしやすい生活環境を整える。	・自ら規則正しい生活をして、生活のリズムを保っている。 ・必要な支援を求めることができる。
		心理的な安定	・自己の特性に合わせた学習で、成功経験を増やし、自信をもたせて学習への意欲を高める。 ・混乱したり、不安な気持ちになったときに、自分にあった行動ができる。 ・急な予定変更に対処し、状況を理解して適切に対応することができる。	・苦手な学習に取り組もうとする。 ・自ら刺激の調整を行い、気持ちを落ち着かせることができる。 ・事前に予定を把握したり、体験できる機会を設定したりしてゴールのイメージを持って行動できる。
		人間関係の形成	・小集団での経験を広げて、交流学級で、相手の立場や、相手が考えていることなどを推測して関わることができる。 ・SSTを実施し人間関係の在り方について考えさせる。	・体験的な活動を通して自分の得意不得意なことを理解したり、他者の意図や感情を考え、対応方法を身に付けたりしている。
		環境の把握	・集団生活の中で、周りの動きを察して何をすべきか判断をすることができる。 ・時間を見て、意識して行動させる。	・集団の動きに自分なりに合わせて行動をすることができる。 ・どれくらい時間がかかるか自分で考えて行動することができる。
		コミュニケーション	・SSTを実施し、他者の視点にたって考えて話せるようなコミュニケーションの力を育てる。 ・援助を求めたり、相談したりすることができる。	・相手の考えを否定せず、自分の思いを使えることができる。 ・相談することの良さを実感し、安心して自分の気持ちを言葉で表現している。
年間指導時数 35 時間				
指導上の留意点			○抽象的な発問は避け、具体的に話をする。 ○作業を取り入れた活動を仕組み、コミュニケーションを自然にとれるようにする。 ○まず生徒の思いを聞き、共感したのちに必要に応じた指導をする。 ○何に困っているか、本人の状況を把握する。	
具体的な内容			・園芸 ・SST（ソーシャルスキルトレーニング） ・手仕事によるものづくり ・調べ学習	